

都立青山特別支援学校（港区・渋谷区・目黒区センター校）

特別支援教育センター的機能通信 No.5（通巻 No.80）

つなぐ



令和6年9月4日（水）

都立青山特別支援学校校長	中澤 将人
相談支援部主任	中村 尚子
文責	田村 明子
	松本 聖子

副籍交流・就学相談等に関する区教育委員会との連絡会 報告

7月30日（火）「就学相談・副籍担当者連絡会」を開催しました。本校の学区である、港区、渋谷区、目黒区、千代田区の教育委員会担当者の皆様にお集まりいただき、今年度の副籍交流の実施状況と就学相談状況などを報告し合いました。その中で課題となっている点を確認し、改善策を共有しました。

副籍交流について

○地域指定校の手続き（名簿や副籍計画書兼報告書の受取、取り扱いについて等）の周知

→迅速・確実に対応するための新たな方策

「校長・副校長連絡会での周知」「副籍担当者対象の説明会の実施」

現在の取り組みから一歩進んで、区から小・中学校に向けて、周知を促す具体的な方策を進めていただくことを確認しました。

○地域指定校と特別支援学校の間での連絡の取りづらさへの対応

→メールでのやりとりの推奨については、「区と小・中学校においてメールシステムが違い、メールを推奨するのが難しい」という区からの報告が多くあり、引き続き新たな方策について模索する必要性を共有しました。

→「電話やファクシミリなどの連絡方法」を維持しつつ、連絡を取りやすくする方策

例えば、地域指定校の担当者が電話に出られないことが重なる場合「管理職や他の担当者も内容を把握して対応できる体制を組むよう推奨する」等を確認しました。

就学相談に関する情報共有

○現在、本校への就学を検討している方々の数の推移の報告

○スムーズな相談に向けた流れや体験学習の受け入れなどについての再確認

→就学を検討する際は「学校公開」「学校見学会」「体験学習」など、就学予定者の状況に応じて、学校を見学する機会があることを区から対象者にお知らせいただく。

→本校への入学が決定した後に、お子さんと共に「学校就学相談」と「一日入学」の2回は来校する機会があることを確認しました。



夏季支援機関見学 報告

昨年度に引き続き、本校教員向けに『児童・生徒が利用している支援機関についての理解を深める』、『支援機関での本校児童・生徒への支援の内容について知る』ことを目的に、**夏季支援機関見学会**を行いました。

今年度は、7月23日（火）**児童発達支援・放課後デイサービスぴかいち**に12名、7月30日（火）**放課後デイサービス広尾てくてく・福祉型障害児童施設宮代学園**に17名の教員で伺いました。

職員の方に施設内の案内をしていただいたり、当日利用していた児童・生徒の様子を見学したりしました。最後は、質問時間を設けていただき、長期休みのスケジュールや年間活動の内容、施設としてのコンセプト等を聞かせていただきました。

てくてく・宮代学園は、児童がおやつを自分で選んで決めるなど、「児童・生徒に、選択肢を与え自己決定させることで、主体的に活動させる」をコンセプトに運営されていました。また、主体的に活動させたいという考えから、プログラムは決めていないが、年間を通してお楽しみ会や旅行を計画しているそうです。

ぴかいちは、遊びという実体験を通して、子供たちは人間関係や自然環境、命の大切さやお金の使い方など人間社会にとって必要なことを学ぶことができる「遊びから生きる力を育む」ことをコンセプトに運営されていました。また、公園でボール遊びをするときはプレイリーダーの高校生たちと遊ぶなど、子供や障害者に関わる多くの事業に参画されています。

どちらの支援機関も、子供たちのより良い生活のために、学校としっかり連携をとりながら運営していきたいと話してくださいました。今回の見学を通して得た学びや気づきを、本校教員だけでなくこの通信を通じて皆様に発信し、今後も児童・生徒の成長のためにより深く連携を図れるようにしていきます。



児童発達支援・放課後デイサービスぴかいち



放課後デイサービス広尾てくてく・福祉型障害児童施設宮代学園（写真は宮代学園食堂）



校内の保護者の皆様からの御相談をお受けいたします。

御家庭での子育てのお悩みなどについて、一緒に考え解決していけるよう、コーディネーター等が御相談に対応しています。担任を通じてお電話や連絡帳にて、御連絡ください。